## 研究報告書目次レイアウト(参考)

目  次
I . 総括研究報告 神経難病における中枢神経感作の メカニズム研究とアンメットニーズに応える革新的治療法の開発 
眞野 智生 (資料)「神経難病を診療する医師に対する実態把握」のアンケート調査用紙 (資料)自主臨床研究「神経難病における疼痛に特徴的な客観的指標及び運動感覚閾値の変 動を基盤とした中枢神経感作の研究」のプロトコル
II.分担研究報告 1.神経難病における中枢神経感作の メカニズム研究とアンメットニーズに応える革新的治療法の開発 齋藤洋一
2.神経難病における中枢神経感作の メカニズム研究とアンメットニーズに応える革新的治療法の開発 望月秀樹3 2.神経難病における中枢神経感作の
メカニズム研究とアンメットニーズに応える革新的治療法の開発 柴田政彦 4 2.神経難病における中枢神経感作の
メカニズム研究とアンメットニーズに応える革新的治療法の開発 細見晃ー 5 2.神経難病における中枢神経感作の
メカニズム研究とアンメットニーズに応える革新的治療法の開発 宮井一郎 6 2.神経難病における中枢神経感作の メカニズム研究とアンメットニーズに応える革新的治療法の開発
アカニスムが元とアンスタドニースに心える年前的石原スの用光 藤村晴俊 7
.研究成果の刊行に関する一覧表8